

関係各位

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃はカラーユニバーサルデザインの普及活動に格別のご高配を賜り、
心から感謝申し上げます。

また、この度の「CUDo!2011」におきましては、
皆様には大変お世話になり、重ねて御礼申し上げます。

今回のイベントの「報告書」ができました。
送付させていただきましたのでご査収ください。

今後もCUDの普及にご支援を賜りますよう、
宜しく願い申し上げます。

敬具

平成23年11月吉日

NPO法人北海道カラーユニバーサルデザイン機構

理事長 谷越律夫



報告書

2011年11月



NPO法人
北海道カラーユニバーサルデザイン機構〈北海道CUDO〉
事務局：〒007-0810 札幌市東区東苗穂10条3丁目18番1号 電話 (011)791-9450 ファックス(011)791-9455
<http://www.color.or.jp/> E-mail : info@color.or.jp

ごあいさつ

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃よりカラーユニバーサルデザインの活動にご理解とご支援を賜り、
深謝申し上げます。
また、先日開催されました「CUDo!2011」において、
格別のご協力に預かり、重ねて御礼申し上げます。

この度のイベントに関するまとめといたしまして、
報告書を作成いたしました。
来場者やマスコミの報道、成果や課題などをまとめてみました。
今後の展開にご活用いただければ幸いです。

今後とも、相変わらぬご支援を賜りますよう、
伏してお願い申し上げます。

イベント概要

- 名 称／CUDo!2011
- と き／平成23年10月8日（土）～10月12日（水）10：00～19：00
- ところ／紀伊國屋書店 札幌本店 2階ギャラリー&イベントスペース
セミナー／紀伊國屋書店札幌本店 1階インナーガーデン
札幌市中央区北5条西5丁目7
- 主 催／NPO法人北海道カラーユニバーサルデザイン機構
- 後 援／北海道・北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会・北海道デザイン協議会・NPO法人MUD協会
- 協 力／NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構
- 助 成／北海道新聞社会福祉振興基金
- 料 金／入場無料

■事業の概要／色弱者に配慮された製品の展示・説明する展示ブースを展開した。色弱体験ができる日本初のインタラクティブ空間を2部屋設置した。CUDに関する説明を来場者に対し行った。
体験空間では特殊な光源を用い、従来からあるシミュレーションにはない、よりリアルな体験ができるように日常にある様々な場面を再現し色について配慮の必要性が実感できるものとした。

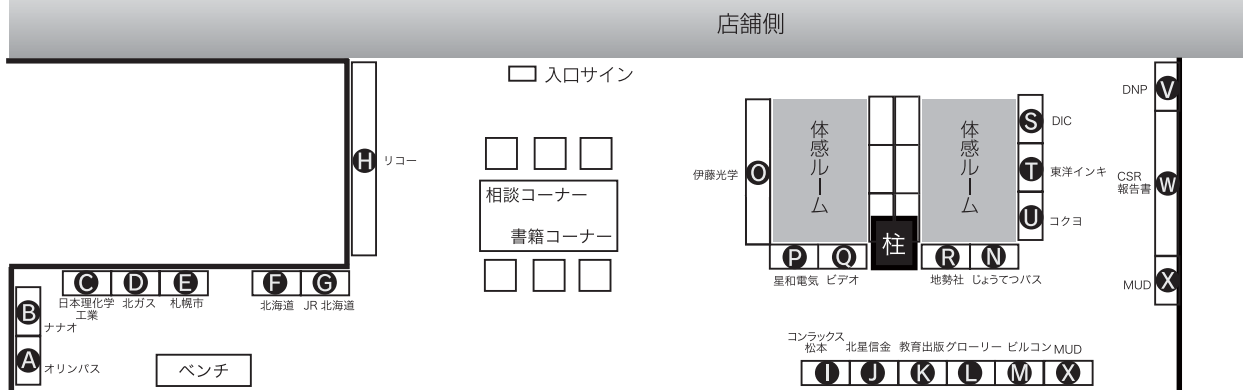
■同時開催イベント／CUDトーク「CUDアプリの未来」

イベント開催初日の10月8日15：00～16：00 同会場1Fインナーガーデンにてセミナーを開催。
スマートフォンで利用されているCUD支援アプリ「色のシミュレーター」と「色のめがね」を開発した
浅田さんとUDレポーターの石井雅子さんによるトークショーを行った。

■企業・団体／展示物

- 北海道／パンフレット
- 札幌市／パンフレット
- JR北海道／時刻表
- ナナオ／パソコンモニター
- オリンパスイメージング／デジタルカメラ
- 日本理化学工業／カラーチョーク
- 北海道ガス／パンフレット
- リコージャパン／カラーコピー複合機
- 星和電機／CUD対応LED
- 北星信用金庫／通帳
- 教育出版／教科書
- グローリー／パネル
- ビルコン／パネル
- コンラックス松本／LEDサイン
- 伊藤光学工業／バリエントール
- じょうてつバス／路線図
- 地勢社／地図
- DNP北海道／CSR報告書等
- 東洋インキ／カラーファインダー・UDing
- コクヨS&T／レーザーポインタ
- DICカラーデザイン／カラーガイド
- NPO法人MUD協会／パンフレット

CUDo! 2011 EVENT MAP



- Ⓐ オリンパスイメージング Ⓑ ナナオ Ⓒ 日本理化学工業 Ⓓ 北海道ガス
- Ⓔ 札幌市 Ⓕ 北海道 Ⓖ JR北海道 Ⓗ リコー Ⓙ コンラックス松本 ⓫ 北星信用金庫
- ⓪ 教育出版 ⓬ グローリー ⓭ ビルコン ⓮ じょうてつバス ⓯ 伊藤光学工業
- Ⓟ 星和電機 Ⓠ ビデオコーナー Ⓡ 地勢社 Ⓢ DICカラーデザイン Ⓣ 東洋インキ
- Ⓤ コクヨS&T Ⓥ DNP北海道 Ⓦ CSR報告書 Ⓧ メディアユニバーサルデザイン協会

※会場内レイアウトにつきまして若干の変更がありました。

報道・取材依頼と成果

マスコミ各社に対し「取材依頼書」を持参しお願いいたしました。北海道に於ける主要な媒体に多岐にわたり掲載・報道され、CUDが社会的に重要な分野であり、注目されている事の実証ともなりました。

- 9月28日
北海道新聞「ひと」のコーナーで掲載。
- 10月1日から10月7日まで
ケーブルテレビで、イベントの告知が流れました。
- 10月7日
読売新聞で掲載です。
- 10月8日
夕方のuhbのニュースで、CUDo!2011が紹介されました。
- 10月13日
毎日新聞で、「雑記帳」のコーナーで掲載。
- 10月13日
北海道建設新聞で掲載。
- 10月27日
uhb「石井ちゃんで行く!」で、「体験ルーム編」が放映されました。
- 11月3日
uhb「石井ちゃんで行く!」で、「最新カラーUD編」が放映されました。



北海道新聞



北海道建設新聞



毎日新聞

色弱の見え方やCUD製品展示
あすから中央区
色を見分けるのが困難な色弱者の見え方を疑似体験できる展示「CUDの見える」が8月12日、紀伊国屋書店札幌本店（札幌市中央区北二条西）で開かれ、約400人が参加した。NPO法人・北海道カラーユニバーサルデザイン機構（谷藤律夫理事長）の主催。特殊な光線や装具を使い、色弱者の見え方や感じ方を体験できる会場を作るほか、色弱者に配慮した色合いの「カラーユニバーサルデザイン（CUD）」を取り入れた製品を展示する。色弱者や企業・自治体向けの無料相談コーナーも設ける。初日は午後3時から、CUDについて語る下

読売新聞

■CUDトークについて

10月8日（土） 15：00～16：00

紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデンにおいて、CUDトーク「CUDアプリの未来」と称し、セミナーを開催しました。

講師として、医学博士・メディアデザイン博士の浅田一憲氏とフリーパーソナリティーでUDリポーターの石井雅子さんを招きました。

浅田博士の開発した「色のめがね」と「色のシミュレーター」の制作に関する経緯やエピソードなど興味深いセミナーとなりました。

来場者は約130人でした。



インナーガーデンの様子



■成果

今年は会場を昨年の「市民ホール」から「紀伊國屋書店 札幌」に戻しました。一般のお客様が入りやすい場所という原点に戻りました。おかげさまで、セミナー、展示合計で約千人というたくさんの方々の来場をいただきました。事前にご案内を差し上げたところ、多くのマスコミの皆様が取材に来てくださいました。イベントの告知・案内、当日の取材などありがとうございました。

【セミナー】

iPhone、iPad2、Android用の「色のめがね」「色のシミュレーター」を開発した浅田博士をゲストにお迎えし、UD番組「石井ちゃんが行く!」でお馴染みの石井ちゃんを聞き手に、CUDトークが行われました。会場いっぱいの人。「色のめがね」に寄せられた感想を浅田博士が読み上げると会場には涙をぬぐう姿も見られました。明るい雰囲気の中にもじわりとところに響いたセミナーでした。

【展示】

カラーユニバーサルデザインに配慮された製品群を展示してくださった各企業の方々には今年もお世話になりました。ご来場の皆様は、ひとつひとつ丁寧に興味深くご覧になっていました。世界で初めての試みもありました。ソラノイロ・伊藤光学・パルコキノシタさんが共同開発した「色弱体験ルーム」は、今までメガネ(バリエーション)、各種のシミュレーションソフトなどで間接的に体験していた色弱の世界を初めて直接的に体験できたと大変に好評でした。特にこの部屋の中で見るゴッホの絵が三次元的に浮き上がるのを見た方々は「おおっ」と声を上げておられました。「美術史の大きな発見ですね」とおっしゃる方もいらっしゃいました。

今年もたくさんの方の色弱の方、色弱の子をお持ちの親御さん。学校の先生、養護の先生、デザイナーの方々、印刷業界の方々、また建築関係、などなどさまざまな職種の方々がいらっしゃいました。さまざまなお言葉をいただき励みにもなり、また勉強になりました。



会場内の様子

■課題

カラーユニバーサルデザインという言葉がかなり浸透してきたという実感はあるものの、まだまだ色弱の知識、カラーユニバーサルデザインの知識は一般的ではないことにも気づかされました。色弱に関する誤解を丁寧にひとつひとつ解いていくこと、カラーユニバーサルデザインの知識をしっかりと確実に伝えること。地道で長い道のりだと感じました。

「色弱体験ルーム」は非常に可能性が大きいと感じました。部屋そのものを色弱の見え方にしてしまうことは画期的だと思います。さらに簡便に小さなもの、あるいは大きな空間全部を・・・など応用の可能性が広がります。ゴッホの絵についてはさらに検証・証明をしなくてはなりません。非常に大きな発見になるかも知れませんが確実な科学的裏付けをとりながらの考察と作業が必要でしょう。



体感ルーム

■総括

2006年から始まった北海道CUDoの活動も6年目。2006年に「こころの色展(1)、(2)」2007年に「CUD EXPO2007」2009年に「CUD EXPO2009」そして今回2011年は「CUDo!」と続けさせていただきました。関係各位の方々のご協力とご支援によりここまで活動することができました。

2006年にギャラリーたぴお、さらに紀伊國屋書店で始まった展示活動も回を重ねる毎に充実してきたと実感しています。まだまだ課題はあるものの「ひとやまを超えたかな」という気持ちも湧いています。何より、カラーユニバーサルデザインを共に広めていただく仲間がたくさん増えてきたことでしょうか。最終日、撤収の日にはたくさんの方々が手伝っていただき、あっという間に片付けました。前回、前々回の大変さを思い出し、ありがたさを実感した瞬間でした。感謝いたします。